



(第30号) 2009年7月25日発行

理事長あいさつ

「四つの学ぶこと」を基本理念に 参加しやすい生涯学習支援センターめざして



理事長 高木 義夫

NPO法人高知県生涯学習支援センターは、初代理事長の山本晋平先生が掲げた――

- ①知ることを学ぶこと
- ②為すことを学ぶこと
- ③他者とともに生きることを学ぶこと
- ④人間として生きることを学ぶこと

という、ユネスコ21世紀国際委員会が示した「四つの学ぶこと」を基本理念として継承していき、高知県民にとって理解しやすく、参加しやすい生涯学習支援センターであることを心がけ、きめ細かく、広く活動できるように努めてまいりたいと思います。

この5年間の実績としましては、「炭の文化事業」、「不登校・高校中退者のための進路相談会」、「PPK体操普及活動・指導者養成講座」等は大きな成果を残したと思います。

特に、炭の文化事業につきましては、単なる研究事業にとどまらず、伝統産業の後継者育成という点からも大きな成果を挙げました。

室戸市では、若者5名が炭焼きで生計が立てられるようになり、今後の産業振興の担い手として、期待できる事例となっています。

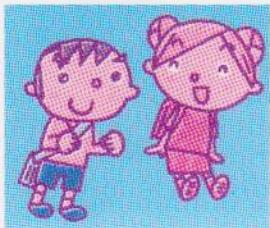
今後の取り組みとしては、放課後子どもプラン推進事業の「放課後学び場人材バンク」、「不登校・高校中退者のための進路相談会」、「聴覚障害児童を対象としたパソコン教室」を大きな柱として、取り組んで行こうと考えています。

特に、「放課後子どもプラン」推進事業は、高知県下の小中学生の学力・体力が共に全国最低レベルにあるということを学校の責任にするのではなく、高知県民全体の問題として、これを改善していくという取り組みです。

各市町村の教育委員会と協力し、県下ボランティア団体・大学・高校・社会教育団体関係者などのあらゆる組織・個人が支えあって、子どもたちの「学ぶ心」を少しでも引き上げていきたいと思っています。

一人ひとりの力が大きな原動力になり得る、と確信しています。

ボランティア団体であるNPO高知県生涯学習支援センターは、幅広く県民の皆様のご参加を心よりお待ちしております。



すべての子どもたちに 豊かな放課後を!!!

放課後学び場人材バンク
コーディネーター 濱崎 博志

子どもたちは未来からの使者であり、次代を担う大事な大事な宝である。その原石とも言える宝を磨き、光り輝く人材に育てるのは、私たち大人の義務であり、責任でもあると思う。

教育の大切さをルソーは、その著書エミールで、「人間は教育によってつくられる」と述べている。

よく聞く言葉で、私もついつい口に出してしまう「今の子は……」という一言は、ある意味で自ら子育ての責任を放棄したとも言え、禁句。

子どもたちに「じゃあ、今の時代をつくったのは誰なの?」と、反論されたら答えに窮してしまうのは…………。

少子化や
核家族化で
子どもたちを
取り巻く環境



も大きく変化し、いじめ、虐待、育児放棄など、子どもが犠牲者となる痛ましい事件が毎日のように報道されている。

家庭、学校、地域が一体となって教え、育むという本来の教育のあり方が失われつつあるように思う。その対策として、様々な取り組みが国、県、市町村で行われている。

「放課後子どもプラン」もその一つで、地域社会の中で放課後や週末等に子どもたちが安全で安心して、健やかに育まれるよう文部科学省の「放課後子ども教室推進事業」と厚生労働省の「放課後児童健全育成事業」を一体化、あるいは連携して実施するものである。

具体的には、放課後や週末等の子どもたちの

遊び場や生活の場を確保したり、小学校の余裕教室などを活用して、地域の方々の参画を得て、学習やスポーツ・文化芸術活動、地域住民との交流活動などに取り組む。

高知県内でも、小学校の空き教室や公民館等で「放課後児童クラブ」や「放課後子ども教室」



を開設、子どもたちの放課後の居場所づくりに取り組んでいる。さらに、中学生対象の「放課後学習室」にも力を入れている。

また、こうした事業を推進するためには、指導員や学習アドバイザーなどの人材の確保が必要不可欠である。

このため、県教育委員会では、学習活動などを支援する講師の発掘や登録、情報提供を行う「放課後学び場人材バンク」を創設。同事業の推進を高知県生涯学習支援センターが受託。現在、人材発掘・バンク登録に取り組んでいる。

ご近所、お知り合いで「この人は」という方がいれば、ぜひ当センターまでご一報を。

人材を募集しています!!

「放課後児童クラブ」「放課後子ども教室」「放課後学習室」

などの学習支援をしてくださる方を探しています。自薦・他薦は問いません。

【お問い合わせ】高知県生涯学習支援センター
TEL (088) 833-0022 FAX (088) 833-0023
担当: 小野俊一郎・濱崎博志

聴覚障害児童対象のパソコン教室

平成20年10月、聴覚障害児童対象のパソコン教室「エンゼルハンド」が開講しました。

この教室では、パソコン指導専門の先生の説明を、手話の先生が通訳しながら学習を進めていきます。

開講時は5人だった生徒数も10人に増え、5月にはタイピング検定等の検定ができる環境も整い、

幅広く活動できるようになりました。6月はタイピング検定7級に挑戦し、合格した生徒もいます。

教室は、毎週土曜日の午前のコース、午後のコース、月曜夕方のコースの3コースがあります。随時、生徒募集をしておりますので、お気軽にお問合せください。



合格認定書を手にニッコリ



NHK「みんなの手話」でおなじみの早瀬憲太郎氏

今年10月、「エンゼルハンド」が開講して1年を迎えます。

1周年を記念して、11月21日全日本ろうあ連盟創立60周年記念映画「ゆずり葉」の監督でもあり、NHK「みんなの手話」の講師として出演中の早瀬憲太郎氏をお迎えし、講演を行うことが決まりました。

この講演の司会・進行を生徒達が担当し「できる」喜びを自信につなげ、社会に参加できるきっかけになればと思います。

H21年度不登校・高校中退者のための進路相談会

■日 時

- 平成21年9月26日(土)
- 午前10時～午後1時
(午前9時30分より受付)

■場 所

- 高知県教育センター分館
- 南棟1階 大講義室
(高知市大原町132番地)

■内 容

- 10:00～10:05
開会の挨拶
高木 義夫(NPO高知県生涯学習支援センター長)
- 10:05～11:00
講演
演題、講師(未定)
- 11:00～13:00
個別相談、説明
(各団体ごとに個別ブースを設置しております)

近年、増加傾向にある不登校・高校中退者。彼らと保護者への支援を目的に開催します。この会では、不登校児童生徒、高校中退者への進路に関して、さまざまな角度から対応できるよう各団体ごとに個別相談コーナーを設けて、具体的な方向性を示唆できるような体制を整えています。

昨年度の進路相談会

参加者：約60名

講演

演題『子どもの不登校から父親として学んだこと』

○参加費 無料(事前申込の必要はありません)

16ミリフィルム映写会のお知らせ

高知県生涯学習支援センターでは、2009年4月より毎月第2・第4土曜日の午後1時～午後3時に、昔懐かしい16ミリフィルムの映写会を開催しております。

お茶を飲みながら、おしゃべりをしながら、懐かしく貴重な映像を楽しみませんか。



参加費(飲み物・お菓子付き)

小学生以下	無料
中・高生	200円
一般	400円

尚、9月からは第2土曜日のみの開催となります。



7月25日(土)

午後1時～午後3時

- すばらしい松おじさん(ハナ肇)
- 県民ニュース NO.11
- 桂菊丸のきまま旅

8月8日(土)

午後1時～午後3時

- 文子の日記
- 県民ニュース NO.12
- 桂菊丸のきまま旅

8月22日(土)

午後1時～午後3時

- 夏休み子ども企画 アニメ特集
- 大きなカブ ○ アンパンマン
 - いちごが運んだ手紙

出張16ミリ映写会のご案内

～懐かしい昭和史がここにある～

自治会や団体においての出張映写会をご希望の方は、3,000円で、スクリーン・映写機・フィルムを持ち込みまして、映写会を開催させていただきますので、ご希望の日時や会場をご連絡ください。教育映画や社会映画の他、昔の県民ニュースや記録映像が御覧になります。集いの場での楽しみとして、また昭和の歴史勉強の一環としてお役立て下さい。

尚、遠方の場合は、ガソリン代として、少し加算させていただく場合がございます。

KOLEC 文化教室

教室名	開催日	指導者
障害児童対象パソコン教室	毎週月曜日・土曜日	田村 佐和・尾崎 里美
フリースクール	毎週月曜日・木曜日	山波 嘉律雄
書道教室	月3回・木曜日	藤田 紅子
和裁教室	日曜日	柏原 貴美子
絵画教室	毎週火曜日・日曜日	北村 久美
中国帰国者を支援する会	毎週木曜日・	小谷 操二
バレーボール教室	毎週月曜日	



※詳細については、お電話でお問合せください。(088-833-0022)



発行 2009年7月25日

NPO高知県生涯学習支援センター(KOLEC)

〒780-8031

高知市大原町132番地(教育センター分館内)

電話 088-833-0022 FAX 088-833-0023

電子メール info@kolec.jp

URL http://www.kolec.jp

発行人 理事長 高木義夫

編集 NPO KOLEC編集部/印刷 池田印刷

